

令和7年度
学力向上推進員研修会【中学校部会】

徳島県学力ステップアップテストを
活用した学習指導について（国語・数学）



令和7年4月

令和7年度
中学校第2学年
国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 3 問題は、1ページから13ページまであります。
- 4 答えは、全て解答用紙の所定の欄にはっきりと書いてください。

組	出席番号	氏名

令和7年度(4月)徳島県学力ステップアップテスト結果(中学校国語)

【中学2年生】平均正答率・領域別正答率(%)

全体正答率	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
40.7 (6.5)	44.9 (3.9)	45.4 (3.6)	48.5 (10.9)	31.6 (9.1)

()は無解答率

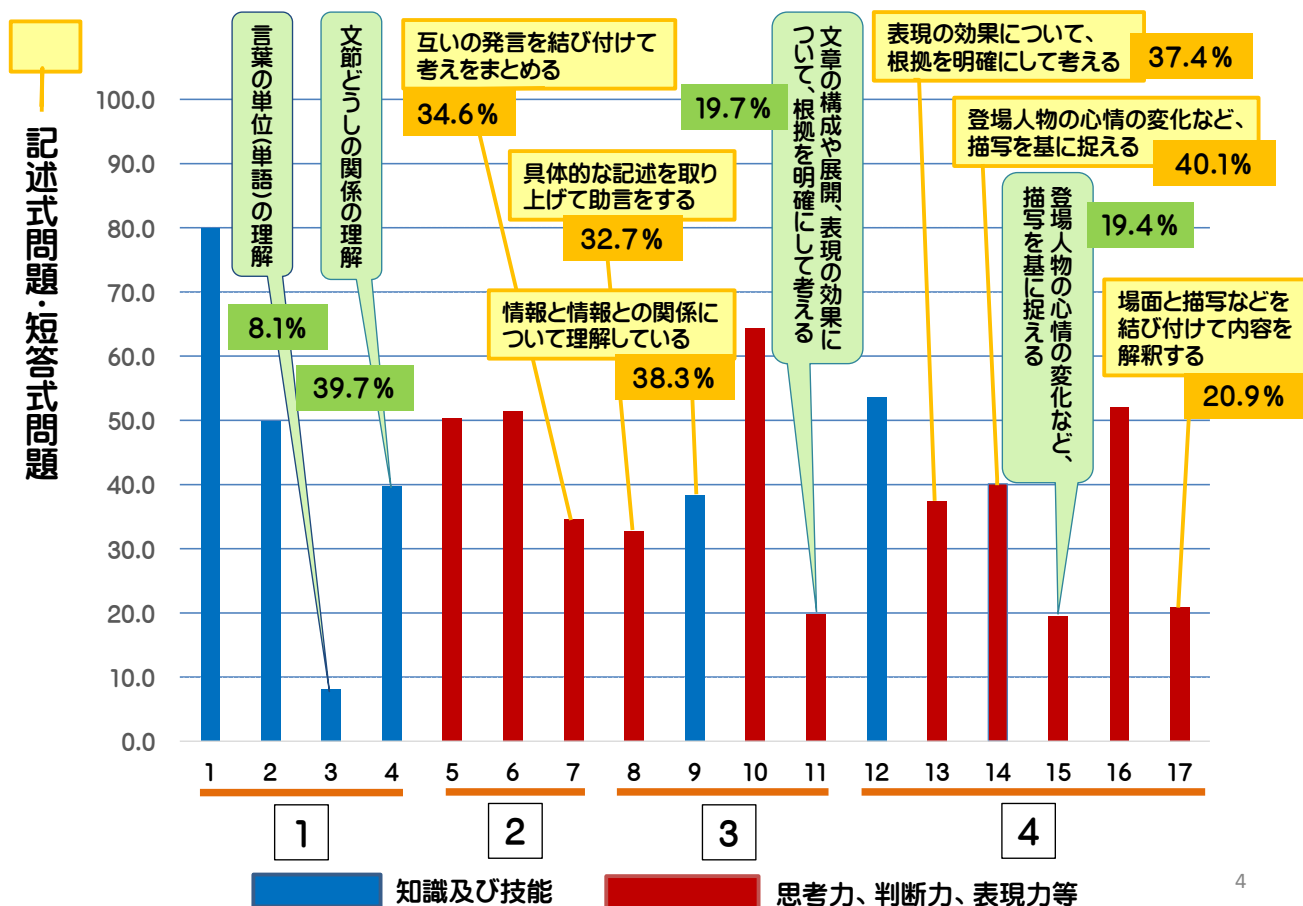
参考 令和6年度【中学1年生】平均正答率・領域別正答率(%)

全体正答率	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
55.9 (2.4)	71.8 (0.3)	52.0 (1.5)	41.3 (4.8)	46.1 (4.3)

()は無解答率

3

令和7年度 ステップアップテスト(設問別正答率) 中2



4

2.3 話し合いの話題や展開を捉えながら、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

正答率 34.6
無解答率 9.3

このあと、各グループの話し合いの結論を共有するた
めに、各グループの代表者が報告することになりました。
あなたが鈴木さんのグループの代表者なら、どのように
報告しますか。報告する内容をまとめた、次の文章の
【A】・【B】に当てはまる言葉を、【話し合いの様子の一
部】の言葉を用いて書きなさい。ただし、【A】は五字
以上、十字以内で、【B】は十字以上、十五字以内で書
くこと。

私たちのグループでは、お礼の気持ちを伝える方法は手紙が
よいという結論になりました。手紙がよいと考えた理由には、電
話と比べて、もらったときの喜びが大きいこと、【A】、自分の都
合に合わせて読めること、関わってくださった全ての方が読める
ことがあげられます。さらに、手紙は電子メールと違って、【B】
があげられ、その違いから手紙でしか味わえないよさがある
と考えたからです。

話し合いの結論

お礼の気持ちを伝える方法

手紙がよい

手紙がよいと考えた理由

- ①もらったときの喜びが大きいこと
- ②A(例) 繰り返し読めること
- ③自分の都合に合わせて読めること
- ④関わってくださった全ての方が読めること
- ⑤B(例) 手書きの文字で個性が出せること

電話と比較して

- ①
- ②
- ③
- ④

さらに

電子メールと比較して

- ⑤

7

鈴木 私は、手紙がよいと思います。一年生のときに、小学校に読み聞
かせのボランティアにいったことがあるのですが、そのときに小学生
からお礼の手紙をもらってうれしかったからです。(略)

石川 私は鈴木さんと同じで、手紙がよいと思います。私も手紙をも
らったことがあるのですが、相手の思いが伝わってきてうれしかった
です。もらった手紙は、今も大事にしています。(略)

石川 電話のよさも分かるのですが、私は、やはり手紙がよいと思いま
す。理由は二つあります。一つは、もらったときの喜びがあるからで
す。もう一つは、受け取った側が繰り返し読むことができるからで
す。

鈴木 今の石川さんの発言を聞いて、中学校に入学するときに、入学の
お祝いをくれた祖父母に手紙を送ったときのことを思い出しまし
た。今でも、祖父母に会うと、あのとき手紙をもらってうれしかった
ことや何度も読み返して元気をもらっていることなどを話してくれ
ます。手紙にしかないよさがあるのではないかと思います。

石川 私は、相手の都合を考えると、手紙がよいと思いま
す。私は、班長として、訪問先に事前の打ち合わせの電話をかけた
のですが、担当の方とお話ししようにもなかなか電話がつながりま
せんでした。とにかく忙しくされていることが分かりましたので、お
礼の電話をかけて、お仕事の手を止めてしまうことは申し訳ないよ
うに思います。(略)

山田 手紙だと、都合に合わせて、読めるときに読んでもらうことがで
きますね。それに、職場体験に関わってくださった全ての方に読んで
もらうことができると思います。電話だと担当の方としかお話でき
ないのではないのでしょうか。私が体験する職場では、担当の方以外
に、十人ぐらいの方が関わってくださることになっているので、全
ての方に読んでもらえる手紙のほうがいいのではないかと思います。

(略)

鈴木 書く内容については電子メールも手紙も同じにすることはでき
ると思います。ですが、電子メールでは、誰が書いても同じ文字で個
性が出せないのに対して、手紙は手書きの文字に個性が表れます。
手紙のほうが、受け取った側もうれしく感じるのではないでしょう
か。最初に、小学生からお礼の手紙をもらってうれしかったという
話をしましたが、心をこめていねいに書いた文字から相手の気持
ちが伝わってきたからです。

8

3 井上さんの学級では、国語の時間に、「食品ロスに

ついて」というテーマで意見文を書いています。今日の授業では、自分たちが書いた意見文をグループで読み合い、付箋を使ってアドバイスを伝え合います。次は、同じグループの「井上さんの意見文の下書き」と「岡本さんの意見文の下書き」、友達が書いた「アドバイスの一部」と「岡本さんがアドバイスを受けて探した資料」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

※文書作成ソフトを使って書く。

【井上さんの意見文の下書き】

皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。「食品ロス」とは、売れ残りや食べ残し、味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられている食品のことだ。現在、さまざまな店で、食品ロスを削減するための取り組みが行われている。

先日、家族で外出していたとき、昼食を買うためにコンビニエンスストアに寄った。パンが並べられている前に立つと、棚が左右に分かれ、左側の棚には、値引きされたパンが並んでいた。買おうかと思っていたパンが、ささっていたので、少しでも安いほうが得だと思い、迷わず商品を手にとった。棚をよく見ると、食品ロスの削減協力という表示があった。食品ロスの削減に少しでもこうけんできているのだと思うと、うれしいうれしい気分になった。店内を見わたすと、「てまえどり」をしようという表示もあり、食品ロスの削減に向けた取り組みが進められていると感じた。

スーパーマーケットでも、期限切れが近づいた商品を値引きして販売している。その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。

食品ロスの削減のために、私たち消費者ができることは何だろうか。私は、むやみに新しいもの、新せんものを求めすぎないことが大切だと思う。牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなると、どうなるだろうか。手前の牛乳はいつまでも残ることになる。私は、すぐ食べるのが分かっている場合は、値引き商品を買ったり、棚の手前にある商品を買ったりすること意識したいと思っている。

【岡本さんの意見文の下書き】

ザザザザザ。大量に捨てられる恵方巻きの映像をニュースで見るとき、思わず、「もったいない」と声をあげてしまった。節分に縁起物として食べる恵方巻やクリスマスケーキなど、時期が限定される商品は、時期を一日でも過ぎると大量に捨てられる。私も、恵方巻きのニュースで食品ロスの問題を意識するようになったが、スーパーマーケットなどの小売店では、毎日売れ残りなどが食品ロスとして出ているのだ。

ところで、私たちの家庭ではどうだろうか。食品ロスは、決して食品メーカーやスーパーマーケットだけの問題ではない。食品ロスは、事業活動をとらえて発生する「事業系食品ロス」と各家庭から発生する「家庭系食品ロス」に分けられ、家庭でも食品ロスの問題に取り組みなければ解決にはならないと考える。もったいないという状況は、家庭でも毎日起きているのである。

では、私たちは、毎日の生活の中で、どのような取り組みができるのだろうか。食品ロスについて、インターネットで調べてみると、消費者庁が発行した資料の中に「徳島県で行った調査の結果」が示されていた。私たちが住む徳島県のデータという点もあり、とても興味深いものだった。その資料には、まだ食べられるのに捨てた理由として、「二位、食べきれなかった」「二位、傷ませてしまった」「三位、賞味期限・消費期限が切れていた」と書かれていた。この結果から、「作りすぎ」「買いすぎ」が食品ロスの大きな原因になっていることが分かった。私は、これから、まずは買いすぎないことを意識したいと考えている。

日本では、食べられるのに捨てられる食品の量が年間五百二十三万トンと推計されている。これは、日本の人口一人当たり毎日おにぎり一個を捨てている計算になる。現在、日本の人口が約一億二千四百万人であることを考えると、食品ロスがいかに大きな問題であるか想像できるのではないだろうか。食品ロスの問題は、私たち一人一人が意識して取り組んでいかなければならないのである。

ICTの活用

交流する場面

9

3 一書き手の目的と意図を理解した上で、具体的な記述を取り上げて助言をすることが出来る。

正答率 32.7
無解答率 20.3

井上さんは、交流のあと、【井上さんの意見文の下書き】の~~~~線部「その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。」という文を、「その他にも、食品ロスを減らす行動について店頭ポスターなどで知らせたり、通常の価格では販売できない商品を集め、格安セールを行った」など、売り方を見直す取り組みが行われている。」と書き直しました。書き直した文から、どのようなアドバイスが付箋に書いてあったと考えられますか。付箋に書かれていた内容を示した、次の文の□に当てはまる言葉を、【井上さんの意見文の下書き】の言葉を用いて十五字以上、二十字以内で書きなさい。

「その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。」

アドバイスを受けて書き直す。

【付箋に書いたアドバイス】

売り方を見直す取り組みについて、□以外の例も書いたほうがよいと思います。

「その他にも、食品ロスを減らす行動について店頭ポスターなどで知らせたり、通常の価格では販売できない商品を集め、格安セールを行った」など、売り方を見直す取り組みが行われている。」

【井上さんの意見文の下書き】

皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。「食品ロス」とは、売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられている食品のことだ。現在、さまざまな店で、食品ロスを削減するための取り組みが行われている。

先日、家族で外出をしていたとき、昼食を買うためにコンビニエンスストアに寄った。パンが並べられている棚の前に立つと、棚が左右に分けられ、左側の棚には、値引きされたパンが並んでいた。買おうと思っていたパンが値引きされていたので、少しでも安いほうが得だと思い、迷わず商品を手にとった。棚をよく見ると、食品ロスの削減に協力しようという表示があった。食品ロスの削減に少しでも貢献できているのだと思うと、うれしい気持ちになった。店内を見わたすと、「てまえどり」をしようという表示もあり、食品ロスの削減に向けた取り組みが進められていると感じた。

スーパーマーケットでも、期限切れが近づいた商品を値引きして販売している。その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。

食品ロスの削減のために、私たち消費者にできることは何だろうか。私は、むやみに新しいもの、新せんなものを求めすぎないことが大切だと思う。牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなると、どうなるだろうか。手前の牛乳はいつまでも残ることになる。私は、すぐ食べるのが分かっていてる場合は、値引き商品を買ったり、棚の手前にある商品を買ったりすることを意識したいと思っている。食品を販売する側と消費者のどちらも食品ロスの削減を意識すること。それが、食品ロスの問題を解決することにつながるのである。

その他 Ⅱ それ以外
それ（指示する語句）が指すもの

「期限切れが近づいた商品を値引きして販売している」

答え（例） 期限切れが近づいた商品の値引き販売 （十七字）

11

3 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。

正答率 38.3
無解答率 16.6

岡本さんは、田村さんからの【アドバイスの一部】を踏まえて、線部①「家庭でも食品ロスの問題に取り組まなければ解決にはならないと考える。」のすぐあとに、「このように述べた根拠を書き加えることにしました。あなたなら、【資料】を見て、どのように書きますか。次の条件に従って書きなさい。」

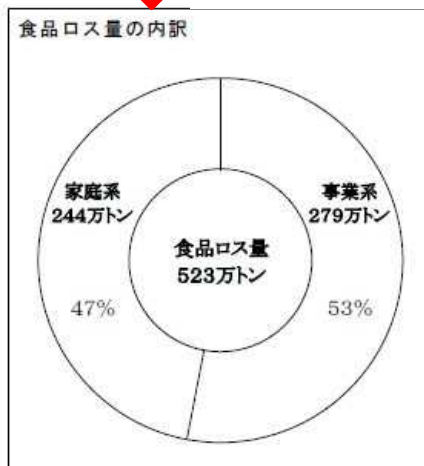
条件 「なぜなら、食品ロス量の内訳を見ると、」に続けて書き、二十五字以上、三十字以内で書くこと。

【アドバイスの一部】

田村
「家庭でも食品ロスの問題に取り組まなければ解決にはならないと考える。」と考えたのはどうしてなのか、理由を書いたほうがよいと思います。理由を書くことで、家庭で取り組むことの大切さが伝わるのではないでしょうか。

アドバイスを受けて
資料を探す

ICTの活用



(農林水産省及び環境省「令和3年度推計」より作成。)

答え（例）（なぜなら、食品ロス量の内訳を見ると、）家庭系食品ロス量が全体の半分近くを占めることが分かるからだ。
(三十字)

12

3 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

13

正答率 19.7
無解答率 1.5

井上さんたちは、読み手に分かりやすく伝えるための工夫として意見文を書いています。【井上さんの意見文の下書き】と【岡本さんの意見文の下書き】に共通している工夫として適切なものを、次の1から5までのの中から全て選びなさい。

- 1 敬体で丁寧に述べることで、読み手に親しみを感じさせている。
- 2 最初と最後に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。
- 3 読み手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりしている。
- 4 伝えたいことを印象付けるために、具体的な数値を使って説明している。
- 5 具体的な体験や見聞を入れることで、伝えたいことを身近に感じさせている。

【井上さんの意見文の下書き】を A

【岡本さんの意見文の下書き】を B

- 1 敬体で丁寧に述べることで、読み手に親しみを感じさせている。 A・Bどちらも「常体」
- 2 最初と最後に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。 A・Bどちらも「結論は最後」
- 3 読み手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりしている。

A 皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。

・食品ロスの削減のために、私たち消費者にできることは何だろうか。

B 牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなると、どうなるだろうか。

・ところで、私たちの家庭ではどうだろうか。

・では、私たちは、毎日の生活の中で、どのような取り組みができるのだろうか。

- 4 伝えたいことを印象付けるために、具体的な数値を使って説明している。

B 食べられるのに捨てられる食品の量が年間五百二十万トン

・日本の人口一人当たり毎日おにぎり一個を捨てている／日本の人口が約一億二千四百万人

- 5 具体的な体験や見聞を入れることで、伝えたいことを身近に感じさせている。

A コンビニエンスストアでのこと

B 大量に捨てられる恵方巻きの映像をニュースで見たこと

14

4月17日

- ・けれども、体はよろこんでいる。もつともつと動こうぜ、とぼくに呼びかけてくる。
- ・うまく言葉にできないけれど、体自身もつと自分を試したがっている。

書名 「空をつかむまで」 著者名 関口 尚

☆感想

「最初は軽く走ってそのまま終わりにするつもりだった。」とあるように、そこまで走るつもりがなかった「ぼく」が、いつの間にか思いっきり走るようになった場面がとても気に入った。その中でも、特に、3か所の表現が印象に残った。「ぼく」が、自分の意思で走るのではなく、まるで体につき動かされているかのように、巧みな表現だと思った。

自分の意思で走るのではなく、
まるで体につき動かされているかのよう

- ・体はよろこんでいる。もつともつと動こうぜ、とぼくに呼びかけてくる。
- ・体自身がもつと自分を試したがっている。

継続的な指導

日常的な指導

正答率 37.4
無解答率 15.7

高橋さんたちは、一年生のときから、心に残る言葉や気になる言葉に出会ったら、自分の表現に生かせるように「言葉の手帳」に書き留めるようにしています。次は、【高橋さんの言葉の手帳】です。にどの言葉を書き留めたのかを、感想を参考にし、【本の一部】から一文で抜き出して書きなさい。

4二 表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

15

答え 空がとても

「息を止めて、体の中のすべての力をしぼり出すようにして、ゴールを駆け抜けた。空がとても広く感じられる。入道雲がきらきらと光って見える。」
【本の一部】六段落より

情景の描かれ方の変化
||
心情の変化

情景描写
人物の心情と響き合うように描かれた風景や場面の描写。

「空には容赦なく光と熱を撒き散らしている七月の太陽がいる。校庭の地面は乾ききっていて、走ったあとには白い土ぼこりが巻き上がる。」
【本の一部】一段落より

正答率 40.1
無解答率 12.3

【本の一部】では、二年ぶりに真剣に走った「ぼく」のすがすがしい気持ちや情景描写を通して表現されています。その気持ちや表現された、連続した二文を、【本の一部】の中から探し、初めの五字を書きなさい。

4三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。

16

4 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。

17

正答率 19.4
無解答率 2.7

次の1から5までの猫田の心情を、話の展開に沿って順番に並べ替えるのとどのようになりますか。1から5までを適切に並べ替えて書きなさい。

「おい、優太。」
「元氣じゃないの。思いつきり走っちゃってさ。」
猫田がにやにやと笑いかけてくる。
猫田が意外そうな顔をする。
「そうなのか。」
猫田は残念そうに腕組みをした。
「じゃあ、サッカー部に戻ってくるのかよ。」
ふてくされた口調で猫田が訊いてくる。
「そ、そうだよな。」
猫田がほっとしたように笑い、べらべらと続けた。
「いま優太が戻ってきてても、そう簡単にまた元のレベルにまでうまくなるのは難しいもんな。それに、おれたち三年だつてこの夏が終われば部活は引退だし。」
「じゃあ、おれ、もう行くよ。」
猫田はボールをグラウンドに蹴り返す。
「わ、わかったよ。」

「おい、優太。」
「元氣じゃないの。思いつきり走っちゃってさ。」
猫田がにやにやと笑いかけてくる。

1 走る優太の姿を見て、からかってやろうという気持ち。

猫田が意外そうな顔をする。

「そうなのか。」

猫田は残念そうに腕組みをした。

4 優太の予想外の返事にがっかりする気持ち。

「じゃあ、サッカー部に戻ってくるのかよ。」
ふてくされた口調で猫田が訊いてくる。

2 優太が戻ることを、おもしろくないと思う気持ち。

「そ、そうだよな。」

猫田がほっとしたように笑い、べらべらと続けた。

「いま優太が戻ってきてても、そう簡単にまた元のレベルにまでうまくなるのは難しいもんな。それに、おれたち三年だつてこの夏が終われば部活は引退だし。」

5 優太の返事に安心したものの、気が気でない気持ち。

「じゃあ、おれ、もう行くよ。」

猫田はボールをグラウンドに蹴り返す。

「わ、わかったよ。」

3 堂々とした優太の発言を聞いて、うろたえる気持ち。

答え 1 ↓ 4 ↓ 2 ↓ 5 ↓ 3

18

4六 場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができる。

19

正答率 20.9
無解答率 19.8

次の文章は、高橋さんが、この作品の表現の工夫について、自分の考えを書いたものです。あなたなら、次の【高橋さんの文章】の□にどのように書きますか。□に当てはまる言葉を、【本の一部】の中から一文で抜き出して書きなさい。

学びのつながり

【高橋さんの文章】

この作品の「ぼく」と猫田との場面を読んでいるとき、一年生のときに「星の花が降るころに」で学習したことを思い出した。主人公の「私」が、銀木犀の花をばらばらと落とす行動や銀木犀の木の下をくぐって出る行動から、気持ちの変化を読み取ることができると思う。

この作品にも、「ぼく」の気持ちが変わったと分かる行動描写があり、読んでいてもしろいと思った。逃げるようにサッカー部をやめ、負い目を感じている「ぼく」が、猫田に話しかけられる場面で、「思わずぼくは自分の左膝に手を当てた」という表現が見られる。膝が痛いふりをするので、傷つけられないようにしてきた「ぼく」の、自分を守ろうとする気持ちが表されていると感じた。その「ぼく」が今までの自分を振り切る姿が、□の一文で表現されていると思った。これからも、同じものや場所が出てくる場面に着目して、場面や描写を結び付けて読みたいと思う。

「元氣じゃないの。思いっきり走っちゃってさ。」

猫田がにやにやと笑いかけてくる。思わずぼくは自分の左膝に手を当てた。

いや、まだまだ膝が悪いけど、いやなことがあったから、やけになつて走ってみようかな、なんて。

そんな言い訳が頭に思い浮かんだ。しかし、膝から手を放して、はつきりと答えた。

「膝はもう治ったんだ。思いっきり走れるんだよ。」

【本の一部】より

答え しかし、膝から手を放して、はつきりと答えた。

20

令和七年度 徳島県学力ステップアップテストから みられる課題

話題や展開を捉えて話し合う【話すこと・聞くこと】

- ・共通点と相違点に注意しながら聞き、他の人の意見と結び付けて質問したり、自分の考えと関連づけて述べたりする。

根拠を明確にして書く【書くこと】

- ・調べて考えたことを報告する際は根拠となる事実を明確に示す。
- ・根拠として確かな情報を選ぶと、説得力が増す。（統計などの数値、具体例、専門家の知見など）

描写に着目する【読むこと】

- ・登場人物の心情は、直接説明するだけでなく、人物の行動や風景の描写にたくして表現されることも多い。
- ・描写に着目しながら丁寧に読むことで、より深く作品を味わえる。

結び付けて解釈する【読むこと】

- ・複数の場面に出てくる同じ物や場所、表現を結び付けて考えることで、場面や描写に新たな意味を見いだす（解釈すること）ができる。

令和7年4月

令和7年度 中学校第2学年 数 学

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 3 問題は、1ページから14ページまであります。
- 4 式や答えなどは、全て解答用紙の所定の欄に、はっきりと書いてください。
- 5 解答は、できるだけ簡潔な形で表してください。
- 6 問題用紙のあいっている場所は、自由に使用してもかまいません。

組	出席番号	氏 名

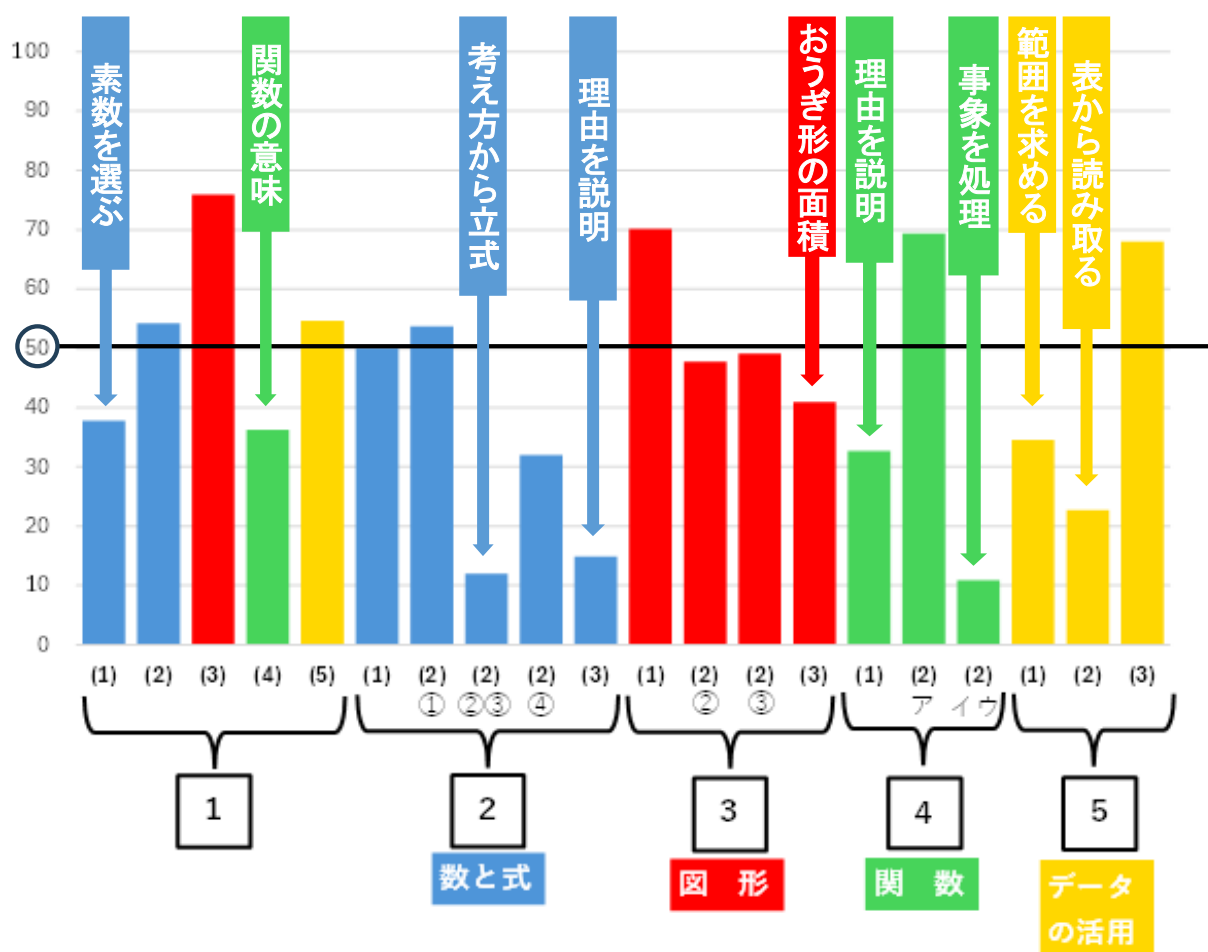
R7年度 徳島県学カステップアップテスト結果【中学校数学】

平均正答率・領域別正答率(%)

全体正答率	数と式	図 形	関 数	データの活用
43.4 (7.5)	36.4 (10.5)	56.7 (3.3)	37.3 (9.5)	45.0 (5.7)

※()内は無解答率

23



24

1 次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

(1) 次の6つの数の中から、素数をすべて選びなさい。

1 、 2 、 3 、 4 、 5 、 6

素数の意味を理解している

正答率 37.8%

数や式を用いて考察する場面で、数や式の特徴を的確に捉えることが大切である。素数についてどんな誤答が多いのかを分析し、繰り返し指導する。また、素数以外にも自然数、整数、絶対値など用語を確認する。

25

2 ちひろさんは、次の数学の問題に取り組んでいます。

数学の問題

いちろうさんは、2 km離れた図書館へ向かって学校を出発しました。その5分後に、ふたばさんは学校を出発し、いちろうさんのあとを追いました。いちろうさんは分速60 m、ふたばさんは分速80 mで歩くとすると、ふたばさんは学校を出発してから何分後にいちろうさんに追いつきますか。

(1) ちひろさんは、「追いつくということは、いちろうさんとふたばさんの歩いた道のりが等しい」と考え、「ふたばさんが学校を出発して x 分後に、いちろうさんに追いつく」として方程式をつくりました。ちひろさんがつくった方程式を次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

ア $80x = 60(x + 5)$

イ $80(x + 5) = 60x$

ウ $80x = 60(x - 5)$

エ $80(x - 5) = 60x$

問題場面における数量の関係を理解している

正答率 50.1%

26

ちひろさんの別の求め方

ふたばさんが、いちろうさんに学校から x m の地点で追いつくとするといちろうさんは、ふたばさんが追いつくまでに $\frac{x}{60}$ 分歩いたと表すことができる。

また、いちろうさんは、ふたばさんより 5 分 ① 歩いているので、② 分と表すことができる。

だから、いちろうさんの歩いた時間は、 $\frac{x}{60}$ と ② の 2 通りの式で表される。

この 2 つの式が等しいので、方程式は、

③

となり、これを解くと $x = 1200$ となる。この解は問題にあっている。

だから、ふたばさんが学校を出発して ④ 分後にいちろうさんに追いつく。

①問題場面における数量の関係を理解している

②③数量の関係を捉え、文字式や方程式に表すことができる

④数学的な結果を事象に即して解釈することができる

正答率 ① 53.7% ②・③ 12.0% ④ 32.0%

図や表を作ったり、数量および数量の関係を文字を用いた式で表したりする活動を行う。

27

(3) 数学の問題の「ふたばさんは分速 80 m」を「ふたばさんは分速 70 m」に変えたとしても、ふたばさんは、いちろうさんが図書館に着くまでに追いつくことができますか。方程式をつくり、説明しなさい。ただし、最初に何を x としたか書きなさい。

事象が成り立つかどうかの理由を説明することができる

正答率 14.9% 無解答率 34.8%

日常生活など具体的な場面を取り入れることで、求めた解が問題に適しているのかなど、考えることができる活動を取り入れる。

28

- 4 しおりさんは、関数を利用した時計があることを知り、調べることにしました。

しおりさんが調べたこと

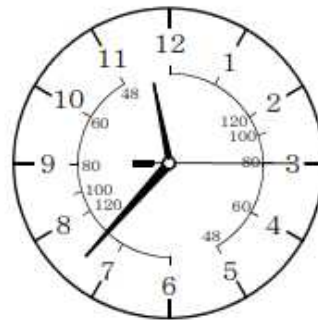
○ナースウォッチ

関数を利用して、1分間よりも短い時間で、1分間の脈拍数を測定するための目もりがついている時計。計算しなくても時計を見れば1分間の脈拍数がわかる。医療機関等で働いている人がよく使っている。

○ナースウォッチを使った脈拍数の測定のしかた

- ① 秒針が文字盤の12（または6）の数字をさしたところから、脈拍を20回数える。
- ② 脈拍を20回数えたときに秒針がさした文字盤の内側にある目もりが、1分間の脈拍数である。

- 右の図は、秒針が文字盤の12をさしたところから脈拍を20回数えたときの秒針の位置を表している。秒針は3、内側にある目もりは80をさしているので、脈拍を20回数えるまでにかかった時間は15秒、1分間の脈拍数は80回となる。



29

- (1) 次の表は、脈拍を20回数えたときの時間と1分間の脈拍数についてまとめたものです。脈拍を20回数えたときの時間を x 秒、そのときの1分間の脈拍数を y 回とします。このとき、 x と y の間にはどのような関係がありますか。あとのア・イのどちらかを選びなさい。また、そう判断した理由を説明しなさい。

x	10	12	15	20	25
y	120	100	80	60	48

- ア 比例
イ 反比例

反比例の特徴について数学的に説明することができる

正答率 32.7%

無解答率 4.8%

伴って変わる二つの数量の変化の特徴を捉える活動を行う。どんな関数なのか、なぜそう思うのかなど根拠を明確にして、話し合う活動を取り入れる。

30

- (2) しおりさんは、脈拍を15回数えて、1分間の脈拍数を測定するナースウォッチもあると知りました。そこで、しおりさんは、脈拍を15回数えて測定する種類のナースウォッチでは、文字盤の内側にある目もりにはどのように数字が書かれているのかを考えました。次のしおりさんの考え方の **ア** から **ウ** に当てはまる数をそれぞれ書き、しおりさんの考え方を完成させなさい。

しおりさんの考え方

脈拍数と時間の関係を、比をもとにして考えると、
 (脈拍数15回):(かかった時間)=(1分間の脈拍数):(1分間)
 となる。
 だから、 $15:(かかった秒数)=(1分間の脈拍数):60$
 脈拍を15回数えるのにかかった時間が 10秒だとすると、1分間の脈拍数は **ア** 回となる。
 秒針が文字盤の12をさしたところから数えはじめて、脈拍を15回数えたときの 秒針が2をさしているとき、内側にある目もりは **イ**、3をさしているとき、内側にある目もりは **ウ** である。

問題場面における数量の関係を読み取ることができる

正答率 ア 69.4%

イ・ウ 10.9%

31

R6年度 ステップアップテスト中学校2年生

- 5 野球部のはやとさんとそうたさんは、次に対戦する投手の攻略方法を考えています。そこで、その投手が試合で投げた100球の球の速さを調べ、次のような表にまとめました。ただし、球の速さは、小数点以下をすべて切り捨てた整数の値です。

はやとさんとそうたさんが作った表

	平均値	最小値	最大値
対戦する投手の球の速さ (km/時)	107	86	127

※平均値は、小数点以下を切り捨てた整数の値です。

- (1) 対戦する投手の球の速さの範囲は何km/時か、求めなさい。

正答率 57.1%

32

- 5 はるかさんの通う中学校の新聞部では、夏休みの読書冊数を調べて、次回発行の記事の資料にしようと考えています。そこで、はるかさんは1年生60人、2年生75人の夏休みの読書冊数を調べ、表にまとめました。

読書冊数調査表

	平均値	最小値	最大値	最頻値	中央値
1年生の読書冊数(冊)	4.0	1	①	4	4
2年生の読書冊数(冊)	3.6	0	9	3	4

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 1年生と2年生の読書冊数の範囲は同じです。 ①に入る値を求めなさい。

範囲の意味を理解している

正答率 34.6%

33

- (2) 読書冊数調査表から、読みとれることについて、正しく述べているものを、次のアからエまでの中からすべて選びなさい。

- ア 1年生60人のうち、4冊読んだ生徒の人数がもっとも多い。 最頻値
 イ 各学年の読書冊数の合計は、2年生より1年生の方が多い。 平均値×人数
 ウ 1年生60人の読書冊数を多い順に並べると、多い方から30番目の生徒の読書冊数が中央値である。 60個の中央値→30・31番の平均
 エ 2年生75人の読書冊数を多い順に並べると、多い方から38番目の生徒の読書冊数は4冊である。

与えられたデータから読み取れることを判断することができる

正答率 22.7%

データを分析する場面を設定する必要がある。

ICTを活用して、表やグラフなどを作成して効率化を図る。



話し合い、考えの共有に時間を使う。

知識・技能

解き方を暗記していれば(覚えていれば)解ける問題

👉 正答率は比較的高い傾向にあるが、課題もある。

概念的な理解が必要な問題

👉 正答率は低い傾向がある。



どの知識を活用しているのか、どうやって考えているのか等を発問で引き出していく。

思考・判断・表現

記述式の問題

👉 正答率は低く、無解答率は高い傾向が見られる。



説明の仕方などを指導し、考え方を表現する場面、考え方を共有する場面、比較・検討する場面を設定する。
数学的な表現を用いた説明になるような場面設定が必要。

教師が解き方をわかりやすく教える授業では・・・

生徒の授業に臨む意識は？



考えることより覚えることに重点を置いていないか？

意味を理解せずに解き方を覚える



悪循環



意味を理解していないから学んだことを活用できない



新しい課題の解決方法を見いだすことができない

新規の問題の解決に既習事項が活用できない

生徒が気付き、考え、表現する授業づくり

37

生徒が気付き、考え、表現する授業づくり

そのためには・・・

教師がわかりやすく説明するのではなく、生徒の発言をつなぎあわせて解決の方法の説明や新たに問題を見いだす場面になるよう発問・問い返しを準備しましょう。

(例)

既習の知識・技能を確認

今までに学習したことを使えますか？

思考の範囲を広げる

〇〇の場合も成り立ちますか？

問題を焦点化

今までの学習とどこが違いますか？
何がわかればいいのですか？

めあてにつなげる

何について考えたい・調べたいですか？

解決の根拠を問う

どうしてそう考えたのですか？

ゆさぶりをかける

本当に正しいですか？

38

学力向上に向けて



39

「徳島版読解力」を生かして

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント
(国語力向上タスクフォースの提案から)

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する読解力・能力を身に付けることにより、すべての学習の基礎となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

本県の児童生徒に身に付けさせたい力 ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

- 文章の中心部分と付加的な部分、問題提起の部分と具体例、まとめの部分などを読み分けて要旨を捉えたり、同じの意図やその筋路に至る経緯を正しく理解したりする力。
- 目的に応じて必要な情報を集めるための見出しをもって読み、根拠として取り上げている内容が適切であるかどうかを吟味したり、また、その根拠が適切である理由が明確になるように自分の考えをまとめたり、表現上の工夫をしたりする力。
- 相手の意図を捉えながら自分の考えを明確にもし、その考えを深めるために、適に応じた適切な言葉遣いで話したり、書いていたりしながら、互いに伝え合う力。

正確に読み取らせるためには！
何が書かれているかを的確に把握する力

- アンダーライン
- 丸や四角での囲み
- 図や表
- など

主体的・対話的で深い学びの視点からは！
自分の思いや考えを「書く」場面を増やそう

- メモ
- 得意
- ホワイトボード
- など

自分の思いや考えを深めるために他者の意見を取り入れよう

- スピーチ
- ペア学習での意見交換
- グループでの話し合い
- 発表
- ポスターセッション
- など

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

- シート
- ワークシート
- 振り返りシート
- など

深い学びにつながる三つの発問は！

- 1 別の言葉に言い換えてみよう。
例「きれい」ってどんな様子なんだろう。別の言い方をしてみよう。
例「たとえ(比喩)」を使って表したら、何と書けるだろう。
- 2 比べてみよう。関連づけてみよう。
例「きれい」とつながっていないかな。
例「前にも同じことがあったかな」。
- 3 そう考えた根拠と理由は何だろう。
例「なぜ」「どうして」を言い合ってみよう。
例「考えた」となった「言葉」(根拠)は、どれだろう。
例「言葉」(根拠)をもとに、なぜそう考えたかを説明しよう。

徳島県教育委員会

これまでの全国学力調査の結果分析をもとに

ブラッシュアップ

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様な複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

- 1 正確に読む力
多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力
- 2 必要な情報を取り出す力
読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力
- 3 比較・関連付けて理解する力
取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力
- 4 見直す力
取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力
- 5 発信する力
取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し

〔授業〕

導入(個別学習)

A 情報を正確に捉える

B 読み取り、考えたことを書き表す

展開(協働学習)

C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ

D 交流を生かして考えを表現する

振り返り(個別学習)

E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

徳島県教育委員会

40

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様な複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を拾い出し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要となる。このように、この社会で生きていくために必要となる力を育成する。

「徳島版読解力」

- 1 正確に読む力
多様なメディアが発信する情報を正確に読み取る力
- 2 必要な情報を取り出す力
読み取った情報から、必要な情報を取り出す力
- 3 比較・関連付けて理解する力
取り出した情報を比較し、視点で情報の価値を捉える力
- 4 見直す力
取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力
- 5 発信する力
取り出した情報を基に、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

「徳島版読解力」

各学習段階、学習場面において「5つの力」を育成する（授業）

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

（授業外）身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

徳島県教育委員会

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

（授業）

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

展開（協働学習）

- C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
- D 交流を生かして考えを表現する

振り返り（個別学習）

- E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

（授業外）

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

各教科等における「令和7年度の重点」

各教科等における「令和7年度の重点」

「自ら考え、判断し、表現できる子供」を目指して

学習指導要領では、子供たちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、能力の三つの柱として「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等」の育成が示されています。これらの資質・能力を育成するため、子供たちが学びの過程の中で、他者との協働、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、自ら課題を見いだして解決策を台端末を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善することにより高い学びを実現します。

徳島県教育委員会では、「確かな学力」において目指す子供像を「自ら考え、判断し、「豊かな心」「健やかな体」の育成との調和を図りながら、目指す子供の姿をまた、多様な複雑な現代の社会を生きていく子供たちには、様々な形式で伝えられた自分の考えを形成するために必要な情報を選択し、選び取った情報を解釈し、活用します。このような力を「徳島版読解力」と定義し、すべての教科等において

中学校の各教科等の重点

目指す子供の姿

- 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
- 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①数学的な見方・考え方を働かせる学習活動の充実

- ◇新たな課題に対し、既習の知識及び技能との関連を示しながら、目的に応じて数、式、表、グラフ等を活用して、解決の見通しや構想をもたせる場面を設定する。
- ◇振り返りの時間に、既習の知識及び技能を用いた有効な解決方法等をまとめさせることで、既習の学習内容を次の問題解決へのアイデアとして生かせるようにする。

②数学的に考える資質・能力を育成する学習活動の充実

- ◇生徒が自ら日常的な課題を解決する等、主体的に取り組む時間を確保し、教師主導の知識伝達型授業に偏らないようにする。その際、「徳島版読解力」を基に、発問を工夫し、既習事項との関係や自分の考えを数、式、表、グラフ等を使って表現したり、他者に筋道を立てて説明したりする場面を単元等の中で計画的に設定する。
- ◇「徳島ICT活用モデル」を基に、ICTを有効に活用する（多様な解法を共有し自分の考えを深める・問題を解決するために必要なデータを収集する・図、表、グラフなどを作成して処理する等）ことで、数学的に考えたり、表現したりする時間を十分に確保する。
- ◇「とくしま授業技術の基礎・基本」の「板書について」「ノート指導について」を参考にし、思考や振り返りなどに板書やノートを活用する場面を設定する。
- また、ホームページにアップしている「授業づくり研修」、「学力向上確認プリント」、「授業・家庭学習等で使えるプリント・手引き等」を授業改善に活用する。

③数学的活動の充実を図り、学ぶことの楽しさや数学のよさを実感させる学習活動の充実

- ◇日常生活や社会の中にある数学的な事象を題材とし、既習の知識及び技能と関連付けて解決する場面を設定する。必要に応じて、週末や長期休業中の課題として取り組むようにする。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、誤った情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

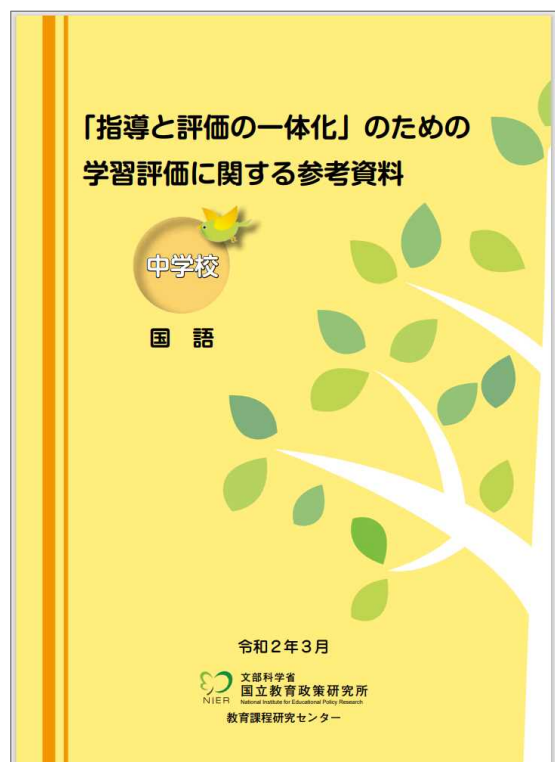
5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

徳島県教育委員会

43

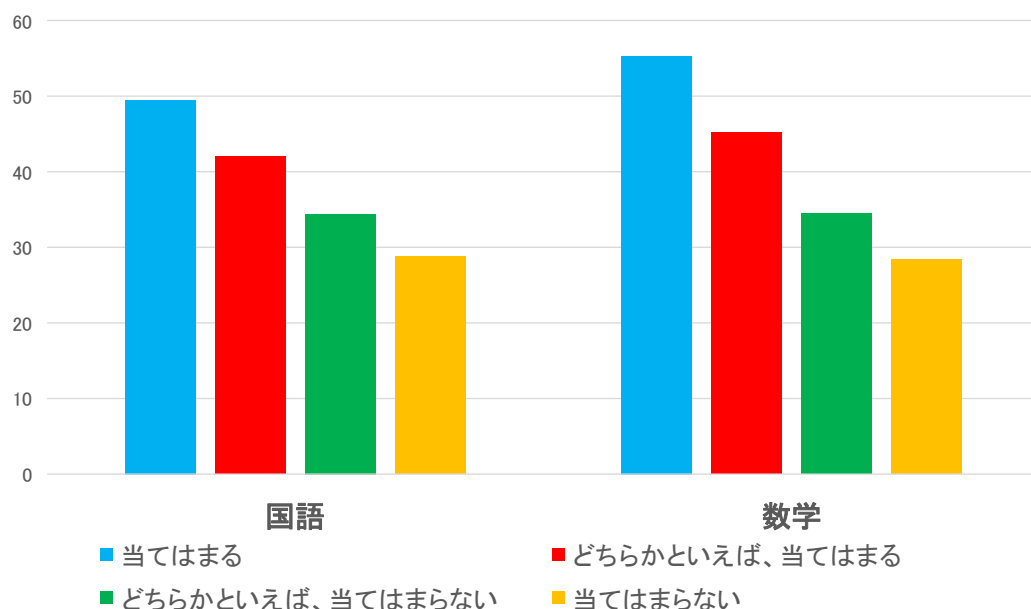
教師が育成を目指す資質・能力を明確にすること



44

生徒が学習課題を把握し、 その解決に向けての見通しをもつこと

(11) 学習した内容について、よく分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



振り返りについての質問 (R7年度生徒質問紙より)

45

学習の見通し・振り返りについて

【見通し】のポイント

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、生徒が理解することが大切

※ めあてを提示し、問題解決への意欲を高めよう。

【振り返り】のポイント

・自己評価(生徒自身の言葉で記述)

・「見通し」と対に

※ 授業(単元)の終わりにはめあてに対応した振り返りの時間を確保しましょう。

【振り返り】の意義

- 教師が指導の改善を図るため。
- 生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするため。

【振り返り】の項目（例）

- 学習で意識したこと。
- 身に付いた力やできるようになったこと。
- 課題を解決するために試行錯誤したこと。
- 前時までに学習したことで、本時の学習に役立ったこと。
- 頑張ったけれど、十分ではなかったこと。
- 学習したことで、今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。
- さらに学びたいこと。

47

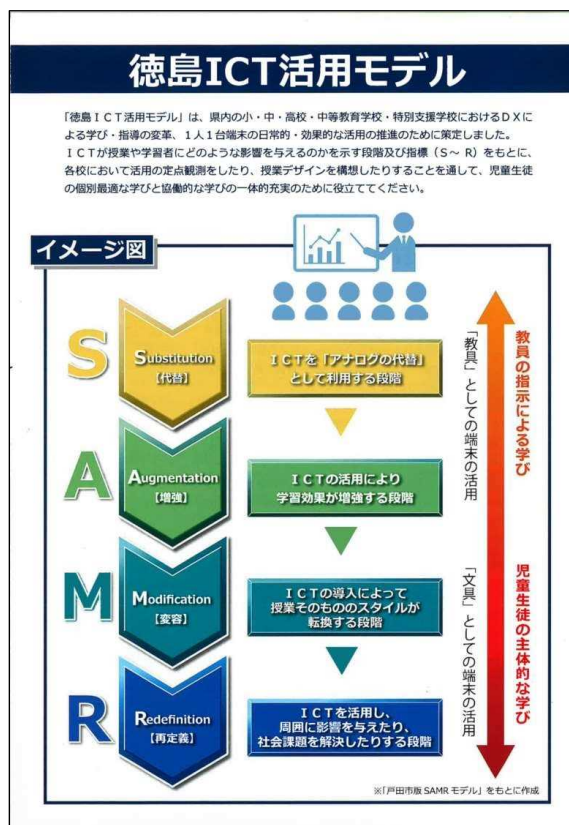
ICTを効果的に活用すること



徳島 ICT活用モデル
～個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて～

Icons: lightbulb, network, cloud, globe, smartphone, Wi-Fi, document, laptop, bar chart, database.

徳島県教育委員会
令和 6 年 3 月



48

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指すこと

個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

生徒が自己調整をしながら学習を進めていくことの重要性

指導の個別化

子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度に応じ、教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う

→ 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める

学習の個性化

子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う

→ 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

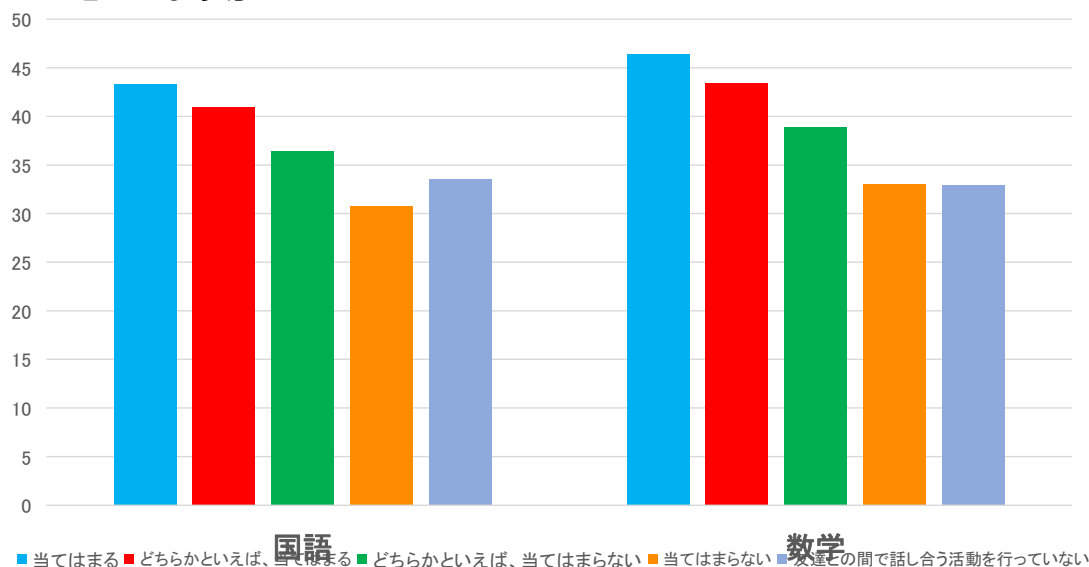
49

協働的な学び

子供一人一人のよい点や可能性を生かし、子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する

→ 異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す

- (10) 友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



話し合い活動についての質問 (R7年度生徒質問紙より)

50

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うこと

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- ・ 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
対話的な学び
深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- ・ あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- ・ 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- ・ 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- ・ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく



51

学校全体で取り組む学力向上

- ・ 生徒の実態把握（PDCAサイクルの実践）
- ・ 学力向上実行プランの周知徹底
- ・ 授業実践等の情報交換

同一教科での交流

他教科との交流

キャリアを超えた交流

52

学習ガイドの活用

Webサイト掲載「学習ガイド」



😊 県学力向上関係資料へは、下のバナーをクリックしてください。

★ 県学力向上関係資料 ★



学習ガイド関係資料

◆ 小学校：国語 算数 理科 外国語

◆ 中学校：国語 数学 理科 英語



53

すべての教育活動を通して
すべての教師で
授業改善と学力向上に
取り組んでいきましょう！

54